



## 教室の危険どこ？ 袋井北小ユニーク訓練

袋井市久能の袋井北小は4日、避難訓練を校内で実施した。教室の危険要素を見つける「リスク探し」、地震が起きた直後の行動を繰り返す「ショート訓練」などのユニークな訓練を通じ、全校児童約900人が適切な避難行動を学んだ。

リスク探しでは、天井の扇風機や壁かけの時計、掃除用具入れなど、地震の際に落ち

たり、倒れたりする恐れのある物を確認し、頭や体を守る大切さを理解した。ショート訓練は音楽に合わせてゲーム感覚で行い、教室や階段、運動場などさまざまな場面を想定して避難行動を実践した。

2年の佐藤陸さん(8)は「教室では、ダンゴムシのように体を丸めて机の下に隠れることが大事だと分かった」と話した。



教室の危険要素を探す児童＝袋井市久能の袋井北小

記事を読んで、問いに答えましょう。

①「ショート訓練」で、地震直後に体をどんな形にして机の下に隠れることが大事ですか。それは何を守るための形ですか。

( **ダンゴムシ** ) の形 ( **体や頭** ) を守る

②地震のときの「リスク探し」で、児童が見つけた「教室の危険要素」を書きましょう。

( **天井の扇風機、壁かけの時計、掃除用具入れ など** )

③あなたの家で、地震のときの「リスク探し」をした場合、どんな危

険要素が見つかりそうですか。二つ以上書きましょう。

(例) **壁掛けテレビ、棚の上の水槽、背の高いタンス、ガラスの飾り、花の鉢や花瓶、階段の荷物 など**

④記事を参考に「避難訓練に必要な工夫」について、30字以内で書きましょう(句読点も字数に含みます)。

(例)

- ・いつも同じでなく、いろいろな場合を想定した訓練を工夫したい。(30字)
- ・音楽に合わせ、ゲーム感覚で行うなど、楽しく実施できると良い。(30字)
- ・どんな場所でも、リスクを想定した行動がとれる訓練を行いたい。(30字) など